

紙面でつながる なみエール



なみエール第六号 令和3年8月1日発行 編集/一般社団法人まちづくりなみえ 町内コミュニティ再生支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、気軽に会ったり集まったりすることが難しい状況が続いています。一般社団法人まちづくりなみえ 町内コミュニティ再生支援事業では、町民の皆さん同士や地域が紙面を通してつながりを維持しながら、浪江町の情報を楽しんでもらえるように「なみエール」を発行しています。

浪江町の様々なテーマについて
深掘りし紹介するコーナー



浪江のあれこれ

はじめに樋渡・牛渡の盆踊りについて佐々木美喜さん・涼さん親子にうかがいました。「お祭りでは地域のお父さんやお母さんが協力して、焼き鳥や焼きそばなどの模擬店を出していました。地域の方だけではなく、親戚の方も参加されていたと思います。地域の温かさや一体感を感じる祭りでしたね。私が小さい頃に着ていた浴衣を娘に着させたりしてね。私も毎年楽しみにしていました」(美喜さん)



樋渡・牛渡行政区の盆踊り 田植踊りも披露されました
なみえ議会だより 2009年8月1日発行第125号表紙より

「小学2年生の頃は、登校班が一緒だった高学年のお姉さんお兄さんに連れて行ってもらった記憶があります。櫓(やぐら)の前で田植え踊りも披露されていて、そこには友達も何人か踊っていたのを微かに覚えていますね」(涼さん)



(写真は盆踊りに向け浴衣を着た佐々木涼さんら)

第6回のテーマは“浪江の盆踊り”

浪江町では各行政区単位で盆踊りが盛んで、震災前まではお盆の期間中およそ30ヶ所以上でそれぞれに盆踊りが開かれていたようです。町民の皆さんに盆踊りの思い出やエピソードなどいかが이었습니다。



棚塩集会所の前で 2006年8月14日

写真提供:酒井久寿さん

続いて棚塩の盆踊りです。鎌田豊美さんと吉田静江さんに聞きました。「棚塩の人だけじゃなく、いろんな人が遊びに来ていた祭りだったなあ。もちろん帰省してくる人も混ざって賑やかだったし、かき氷などの出店で子どもたちは大喜びね。大人も子どもも同じ輪の中で踊っていたし、踊りを習っている女性陣は揃いの着物を着て、踊りも揃っていて見事だった。仮装して踊る人もいて面白かったよ。上手な人や面白かった人などの賞もあった記憶があります。夜遅くまで盛り上がり次日は後片付け。ゴミはしっかり分別して片付けた思い出があるね」(裏面につづく)



写真提供:酒井久寿さん

の着物を着て、踊りも揃っていて見事だった。仮装して踊る人もいて面白かったよ。上手な人や面白かった人などの賞もあ

た記憶があります。夜遅くまで盛り上がり次日は後片付け。ゴミはしっかり分別して片付けた思い出があるね」(裏面につづく)

津島の大昼行政区でも毎年 8 月 14 日に集会所で盆踊りを開いていました。地域の企業などに協賛を呼びかけたほか、住民の皆さんにも家庭で使っていないギフトセットなどの提供を呼びかけ景品を用意するなど、手づくりで準備を進めました。里帰り中の方が同級生と出会えるなど「毎年やっていて、来ればいっきゃえる(会うことができる)場所だった」と大昼の佐々木保彦区長は話していました。

津島でも集落ごとに盆踊りが盛んで、それぞれに個性もあったようで、南津島の盆踊りでは打ち上げ花火も実施し地域を盛り上げていました。「花火にはご先祖様の帰ってくるお盆に、鎮魂の意味もあるからね」と関係者は話していました。



大昼行政区の盆踊り 檣の上で歌や太鼓を演じる人たち
写真提供:佐々木やす子さん

町内では神社の再建などに合わせ「盆踊りをやりたい」という声が聞こえて来ています。今年はコロナ禍で難しいようですが、いつか少しずつ、地域の盆踊りが再開するようお祈りいたします。



まちづくりなみえ町内コミュニティ再生支援事業では、町の様子などを取材しブログで発信しています。今回お届けするのは町内 2 カ所の環境整備の取り組みです。ブログに掲載した内容を一部抜粋してお届けします。

幾世橋住宅団地に昨年発足した『らいふく自治会』の活動の様子をお知らせします。班長会議にて、最近のゴミステーション状況の意見があがりました。ゴミ袋に入っていない違反ゴミや不法投棄と思われるゴミが目立ってきたのです。団地敷地内にあるゴミステーションですが、様々な方が通行し利用しているようで、残念ながら不法投げ入れの可能性も否定できないようです。

大人数での活動は控えるため、班長・副班長の皆さんで、敷地内のパトロールをしながらゴミステーションの清掃を行いました。班長同士で見回ることので、ゴミ問題だけではなく、雑草の様子も一緒に話し合うことができます。“住みよい環境はゴミステーションから”と言っても過言ではありません。(6月8日掲載)



5月20日、権現堂行政区ではクリーン作戦が実施されました。今回初めての試みとして、権現堂行政区にある全 49 カ所のゴミステーション(アパートなどの独自のゴミステーションは除く)の清掃、また違反ゴミや不法投棄の回収・処分を目的に実施しました。ゴミステーションをまわっていると、そこに居合わせた住民の方もいて、協力して作業する様子が見られました。

今回、ゴミステーションに放置されていたゴミをすべて回収し、役場住民課の協力のもとすべて北部衛生センターに運搬しました。そのゴミの量は 1020kg です。権現堂区長会の佐藤区長は「これを機に、定期的にゴミステーションの確認、清掃を行っていきましょう」とお話しされ、今後も根気強く続けていきたいとのことでした。(6月12日掲載)

まちづくりなみえホームページ内ブログ“なみえの今”は、右の QR コードからもアクセスできます。

